

資料 1

1. 奨励品種・認定品種への採用、奨励品種から認定品種への変更、奨励品種・認定品種から廃止する品種一覧
2. 今後の有望系統について

1. 奨励品種・認定品種への採用、奨励品種から認定品種への変更、奨励品種・認定品種から廃止する品種一覧

○奨励品種への採用（案）

作物名	品種名	育成場所	採用理由
水稻	ひなたまる	佐賀県	高温による収量・品質の低下が問題となっている「ヒノヒカリ」及び「たんぼの夢」の代替品種として、同じ中生品種で収量・品質に優れるなど、栽培試験の結果も良好であるため。

○認定品種への採用（案）

作物名	品種名	育成場所	採用理由
大麦	しらゆり二条	農研機構	炊飯性に優れる「白妙二条」の代替品種として、炊飯性は同等に優れ、収量性及び穂発芽耐性に優れるなど、栽培試験の結果も良好で特定の需要に応じるため。
大豆	佐大 H01 号	佐賀大学	オレイン酸含有率の高い大豆品種であり、収量性は「フクユタカ」と同等であるものの、一部実需者から評価が高く、特定の需要に応じるため。

○奨励品種から認定品種への変更（案）

作物名	品種名	育成場所	変更理由
水稻	ヒノヒカリ	宮崎県	新たな奨励品種「ひなたまる」への作付転換を推進することで、作付面積が減少するが、数年は一定程度の作付けの継続が見込まれるため。

○奨励品種及び認定品種からの廃止（案）

作物名	品種名	育成場所及び 奨励品種等採用年次	廃止理由
水稻	たんぼの夢	佐賀県 平成 16 年	新たな奨励品種「ひなたまる」へ作付転換することで、作付面積が減少し、今後増加の見込みがないため。(R7 年産:0 haの見込み)
水稻	※ヒデコモチ	農研機構 昭和 59 年	近年作付が減少しているものの、少量の需要があり、種子は他県から購入可能なため。
大麦	※煌二条	農研機構 平成 31 年	近年作付が減少し、増加の見込みがないため。(R7 年産:0ha 見込み)
裸麦	※イチバンボンシ	農研機構 平成 13 年	近年作付が減少しているものの、少量の需要があり、種子は他県から購入可能なため。

※は認定品種。

佐賀県育成の酒米有望系統 多収で倒伏に強い ALL佐賀の大吟醸を目指して 『佐賀酒73号』

～「佐賀酒73号」の特徴～

山田錦と比較して

- ① 稈長が短く、倒伏に強い。
- ② 大粒で15%多収。
- ③ 高度搗精(50%)が可能で、同等の醸造適性がある。

1. 特性一覧 (2020～2023)

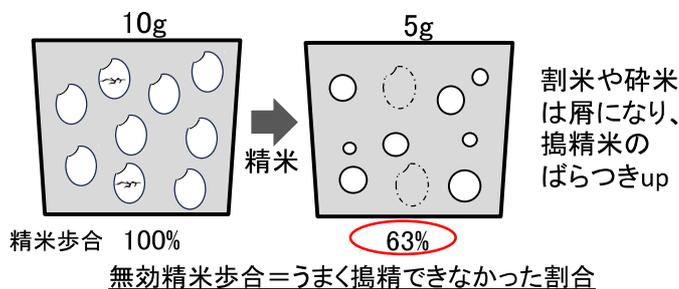
系統・品種名	佐賀酒73号	山田錦
早晚生	晩生の早	中生の晩
草型	穂重型	偏穂重型
出穂期	8月31日	8月30日
成熟期	10月15日	10月8日
稈長(cm)	80	101
穂長(cm)	19.8	21.2
穂数(本/m ²)	296	362
耐倒伏性	やや強	弱
葉もち	かなり弱	やや弱
高温登熟耐性	中	やや弱
精玄米重(kg/a)	52.9	45.9
対標準比(%)	115	(100)
千粒重(g)	28.0	25.9
検査等級	2中	3上
タンパク質含有率(%)	6.5	6.4

3. 高度(50%)搗精が可能

	70%搗精 碎米率 (%)	50%搗精 碎米率(%)		50%搗精 無効精米歩合(%)	
		2022	2023	2022	2023
佐賀酒73号	4.3	0.1	5.0	4.4	11.5
山田錦	6.3	-	3.0	-	9.9

値が小さいほど優れ、
「山田錦」と同等に優れる

※無効精米歩合とは



2. 心白の形状が優れる！

搗精時に
割れにくい

	心白型(%)				
	無心白	点状	線状	眼状	腹白状
佐賀酒73号	25.7	10.7	47.3	4.7	11.6
山田錦	32.0	14.7	29.2	5.8	18.3



4. 醸造適性は良好

品種・系統名	RVA 注1)	吸水性 注2)		アルコール度数	日本酒度 注3)
	糊化開始温度	20分	120分		
佐賀酒73号	68.5±0.55	27.2	30.1	17.3	-2.3
山田錦	71.5±2.29	27.0	29.4	17.1	-5.4

注1) RVAの糊化開始温度は低いほうが、溶けやすい。平均±標準偏差。

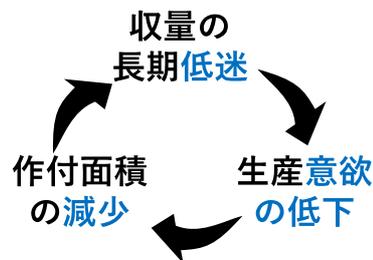
注2) 吸水性、アルコール度数、日本酒度は2021～2022年の平均値で工業技術センターで分析した。

注3) 日本酒度は「+」が強いと辛口、「-」が強いと甘口を示す。

「山田錦」より溶けやすい

ポスト「フクユタカ」の選定

■取組の背景・試験のねらい



気候変動に強く、安定多収な大豆品種が必要

■試験内容・結果

・安定して多収な**2品種**を有望視

項目	九州番号A	そらみのり	フクユタカ
成熟期	11月7日	11月14日	11月3日
主茎長(cm)	59	73	61
収量(kg/10a) [フクユタカ対比]	399 [148]	406 [149]	271 [100]
倒伏	やや弱い	やや弱い	—
葉焼病抵抗性	有	有	無
難裂莢性	有	有	無



「九州番号A」「フクユタカ」「そらみのり」



「九州番号A」「フクユタカ」
葉焼け病が発生しにくい



「九州番号A」「フクユタカ」
莢がはじけにくい

注1)佐賀農試奨励品種決定調査事業、2021～2024年の平均
2)7月上中旬播種、無施肥、畝立て、中耕培土1回
3)栽植密度13.3本/m² (条間75cm×株間20cm×2本立て)

■成果の適用場面・効果

県内に導入されれば葉焼病抵抗性・難裂莢性により、**被害・収穫ロス**を軽減でき、

- ・多収により、**収益性UP**
- ・安定供給により、**産地評価UP**

佐賀県農業試験研究センター

Mail : nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp